



2010

<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

みんなで作る冬のみち

▶ 排雪作業の様子



◀ 大通高校生徒徒による砂まき活動



札幌市では、平成17年度から「地域と創る冬みち事業」を展開しています。これは、生活道路の除雪・排雪について、地域の皆さん、除雪事業者、札幌市の三者が役割分担をしながら、地域の実情にあった雪対策を行うものです。皆さんも、雪との付き合い方を見つめ直してみませんか？

編集：中央区市民部総務企画課広聴係 〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目
☎011-231-2400 (内線224) Fax011-231-6539

「中央区だより」ラジオカロスサッポロ (FM78.1MHz) 毎週金曜午前11時30分～

人口 217,601人 (前月比 +256)
男 97,050人 女 120,551人
世帯数 120,236世帯 (前月比 +154)
平成22年1月1日現在

みんなできつくる冬のみち

ひと冬の降雪量が6尺を超える札幌では、雪との付き合いは避けて通ることができません。今月号では、市が地域の皆さんと協働で行ってきた取り組みなど、雪とのかかわり合いをご紹介します。

地域の皆さんと考える 今までの取り組み

平成17年度から始まった、

滑り止め砂まき

地域と創る冬みち事業は、地域の皆さんと区土木部が懇談会を行い、市の除雪の実情を踏まえて、雪対策について考え、取り組んでいくものです。中央区では、今まで44の町内会と懇談会を行い、地域の課題を意見交換しながら「除雪課題マップ」を作成して、地域の皆さんと協働でできることを考えてきました。

凍結路面への対策や公園の雪置き場活用、マナー啓発活動など、地域の特性に応じた取り組みを進めています。決めた取り組みは、地域の皆さんと除雪事業者や市が役割分担しながら、協力して行い、継続的に検証・改善をしています。

公園の活用

地域の中で特に滑りやすい場所には、地域の皆さんに砂まきをお願いしています。区は、砂の提供や砂箱の設置を行っています。区は、遊具点検や遊具保護

マナー啓発

除雪作業の妨げになる路上駐車や道路への雪出しをしないよう呼び掛けをしています。文書を配布して情報共有を図ったり、のぼりを使った啓発活動を行ったり、区と地域が連携して取り組んでいます。



▲交差点に置かれた砂箱



▲地域の皆さんによる砂まき活動



▲除雪課題マップづくりの様子



▲ルール、マナーを呼び掛けるのぼり



▲雪解け後に公園を清掃



▲遊具に目印ポールを立てて雪入れ

事業の普及啓発

パネル展

区役所や地区センターのロビーでパネル展を行い、事業の概要や除雪に関するルール・マナーの啓発を行っています。



▲地区センターでのパネル展

除雪車見学会

小学生たちが、学校のグラウンドで、除雪車の仕組みや、運転席からの死角の危険性を学びました。

除雪作業中は、危険ですので、除雪車に近づかないようにしましょう！



▲小学校グラウンドでの見学会

小学生も考える

今年度から市では、札幌らしい特色ある学校教育の一つとして「雪」が学校の授業の題材となりました。

そこで、緑丘小学校4年3組では「安全なくらしとまちづくり」札幌市の除雪は世界一!?と題した社会科の授業を行いました。

学習の前半では、区土木部による出前講座（写真参照）も行われ、世界に誇れる市の除雪・排雪システムを調べたり、除雪作業を担当する除雪センター職員の話の聞いたりして、除雪・排雪の大切さ、

苦労や工夫について学びました。

後半は、学校のグラウンドに通学路の雪を排雪する事例から、雪の問題を解決するためには、自分たちも協力していく必要があるということを考えました。



担任の先生に聞きました

実際に授業を行った担任の佐野先生にお話をお聞きしました。

先生は平成17年から独自に札幌市の除雪を授業に取り入れてきており、市の雪対策に造詣が深い方です。

「道内の社会科教諭の中でも長年『雪や寒さは宝』という考え方がありました。除雪距離や排雪量など札幌の除雪は世界一ですが、問題点も多く抱えています。良い点・悪い点の両方を知ること、将来、地域に参画していく芽を育てていくことができればと思います」とこの授業が持つ意味合いを語っていただきました。



緑丘小学校4年3組
のひろし
佐野 浩志 教諭

守ろう雪ルール！

ひとたび雪が降ると、除雪作業を行う距離は市内で5千200メートルにも及びます。

これだけの距離を限られた時間と財源で、より効率的に除雪作業を行うには、市民の皆さんの協力が不可欠です。

- 敷地の雪を道路に出さない
- 路上駐車をしない
- 除雪後、間口に置かれる雪の処理は各家庭で行う

一人ひとりがこれらを行うことで、将来にわたって除雪・排雪体制を安定的に維持することが出来ます。

◆ ◆ ◆
雪によってもたらされる白銀の世界は、札幌の魅力のひとつです。

アイデアを出し合い、快適に雪と付き合う方法を一緒に考えてみませんか。

○ 問い合わせ ○

中央区土木部
維持管理課
☎ (614) 5800

冬のまちづくり活動

区内では、連合町内会主催の雪中運動会や積雪時を想定した防災訓練、砂まき活動による地域貢献などさまざまな活動が行われています。

また、ホームページ「札幌市の雪対策」では、市内の冬におけるまちづくり活動を紹介しています。

URL <http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/machilink/>

▼雪の上で、バケツリレー

冬の震災体験

毎年、厳冬期の大規模災害に備え、各地区持ち回りで中央消防署の協力のもと行われています。今年は1月18日に円山地区で行われました。



雪と遊ぶ

雪中運動会や親子で参加する雪遊び、チューブ滑りなど、区や地域の主催によるさまざまな行事が開催されています。

▼山鼻地区親子雪遊び大会

▼荒井山チューブソリ大会



砂まき活動

アダプト・プログラムにより環境美化活動を行う団体の中には、冬期間は砂まき活動を行うところがあります。1月5日には大通高校の生徒が学校周辺の砂まき活動を行いました（区民のページ「ちゅうおう」1ページ参照）。

情報 オアシス

火は見てる あなたが離れる その時を

区役所関連施設

市コールセンター ☎222-4894

- 中央区役所 ☎231-2400(南3西11)
- 中央保健センター ☎511-7221(南3西11)
- 中央区土木センター ☎614-5800(北12西23)
- 中央区民センター ☎271-1100(南2西10)
- 旭山公園通地区センター ☎520-1700(南9西18)

大通公園まちづくりセンター

- ☎251-6353(北1西9)
- 東北まちづくりセンター ☎251-8119(北2東2)
- 苗穂まちづくりセンター ☎261-3669(北1東10)
- 東まちづくりセンター ☎241-1696(南2東6)
- 豊水まちづくりセンター ☎521-0204(南8西2)
- 西創成まちづくりセンター ☎521-2384(南5西7)
- 曙まちづくりセンター ☎511-0116(南11西10)
- 山鼻まちづくりセンター ☎511-6371(南23西10)
- 幌西まちづくりセンター ☎561-3256(南11西14)
- 西まちづくりセンター ☎561-7124(南6西13)
- 南円山まちづくりセンター ☎561-2472(南9西21)
- 円山まちづくりセンター ☎611-3367(北1西23)
- 桑園まちづくりセンター ☎621-3405(北7西15)
- 宮の森まちづくりセンター ☎644-8760(宮の森2-11)

国民健康保険料の減免と夜間相談について

2月末は平成21年度国民健康保険料第9期分の納期限です。納め忘れのないようお願いします。

また、平成21年中の収入が失業等により前年と比べて大幅に減少し、保険料の納付が困難になった方は、申請により保険料が減免になる場合があります。平成21年中の収入を証明する書類(源泉徴収票・給与明細など)を持参の上、ご相談ください。

なお、保険料を納付できない特別な事情(証明書類必要)があり、平日の午後5時15分までに区役所へお越しになれない方に対して、夜間相談を行いますのでご



利用ください。
▽夜間相談 2月25日(木)、26日(金)の午後8時まで。
※夜間相談は、庁舎南側玄関からお入りください。
係(詳細) 保険年金課収納一・二 ☎(231) 2400

市税の夜間・休日納付相談について

市税を納付できない事情があり、平日の午後5時15分までに区役所へお越しになれない方に対して、夜間・休日相談を行いますのでご利用ください。

▽夜間相談 2月15日(月)～19日(金)の午後8時まで。
▽休日相談 2月20日(土)、21日(日)の午前9時～午後3時。
※夜間・休日相談は、庁舎南側玄関からお入りください。
(詳細) 納税課 ☎(231) 2400

旭山スノーフェスティバル

▽内容 イグルー作り、スノーキャンドル作りなど。
▽日時 2月27日(土)午前10時～午後5時(スノーキャンドル点灯は午後4時30分)。
▽会場 旭山記念公園(界川4)。
▽集合場所 同公園「森の家」。
▽費用 300円(傷害保険代を含む)。
▽申込 2月20日(土)までに氏名・年齢・電話番号・「旭山スノーフェスティバル申込」と明記の上、ファクスで。

▽その他 外での催しです。暖かい服装でお越しください。また、温かい飲み物の提供もあります。
※冬期間は駐車可能台数が少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

(申込・詳細) 維持管理課公園緑化係 ☎(614) 5800 FAX(614) 5843

くしろサッポロ氷雪国体スキー競技会開催

▽日程等 左表の通り。
▽会場 宮の森ジャンプ競技場(宮の森1-18)。
▽入場料 無料。
▽その他 期間中は地下鉄円山公園駅から臨時バスを運行

<スキー競技会日程>

競技名	日時
スペシャルジャンプ	公式練習 2月25日(木) 午前9時～正午
	競技 2月26日(金) 午前9時～午後0時30分
コンバインドジャンプ	公式練習 2月26日(金) 午後1時～4時
	競技 2月27日(土) 午前9時～11時30分

中央区民講座

「ボランティアによる」美術への誘い」～美術を身近に楽しもう4!」
▽日時 2月25日(木)午前10時～正午。

▽会場 中央区民センター2階視聴覚室(南2西10)。
▽対象 区内在住か在勤の15歳以上の方(中学生を除く)。
▽定員・費用 20人・無料。
▽申込 2月11日(祝)から同センター1階窓口か電話で(午前10時～午後5時)。先着順。
(申込・詳細) 中央区民センター運営委員会 ☎(271) 1100

中央区まちづくり参加・入門教室
「オヤジの仲間づくり講座」

「退職後、いきいきと過ごしたい」「地域の役に立ちたい」などの思いを抱えているシニア世代の方が多いようです。

この講座では、団塊世代の講師のお話や座談会などを通じて、今後の人生における生きがいや仲間づくり、地域とのかかわり方などを学びます。

区内に住む同世代の方と交流しながら、はじめの一步を踏み出してみませんか？

◆日時 3月6日(土)午後0時30分～5時30分。

◆会場 札幌市資料館 (大通西13)。

◆プログラム

- ・オリエンテーション
- ・1 講目 「公開セミナー」
(ミニライブあり)

演題 「セカンドライフを豊かに
～仲間と地域活動で～」

講師 山本 コウタロー 氏
(フォークシンガー)



- ・2 講目 「講師を囲んで座談会」
- ・3 講目 「地域の仲間づくり」
(グループに分かれて意見交換)
- ・修了式、アンケート



◆対象・定員

【コース1】 区内在住の55～65歳の男性で全プログラムに参加できる方。30人。多数時抽選。

【コース2】 概ね55～65歳の市民(女性も可)で1 講目の公開セミナーの聴講のみ(午後2時～3時)を希望する方。70人。多数時抽選。

◆費用 無料。

◆申込 2月23日(火)までに電話か、①希望するコース②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号を明記の上、ファクス、Eメールで。後日、郵送で抽選結果や詳細をお知らせします。

◆申込・詳細 市コールセンター

☎222-4894

FAX221-4894

✉info4894@city.sapporo.jp

子育て 掲示板

～子育てに役立つ情報を提供するコーナーです～

【両親教室】

ご夫婦で赤ちゃんを迎える準備をしませんか？

- ◆内容 講話、育児実習、妊婦疑似体験など。
- ◆日時 3月5日(金)午後6時30分～8時30分(受け付けは午後6時から)。
- ◆会場 中央保健センター2階講堂(南3西11)。
- ◆対象 区内在住で5～7月に出産予定の初妊婦とその夫。
- ◆定員・費用 50組・無料。
- ◆持ち物 母子手帳、テキスト「わが家に赤ちゃんがやってくる」。
- ◆申込 2月15日(月)午前9時から電話で(ファクス不可)。先着順。

◆申込・詳細 健康・子ども課 ☎511-7221

【にこにこクッキング】

お子さんの食育と子育てについての講話、食生活改善推進員による簡単料理の調理実習を行う教室です。

- ◆日時 3月11日(木)午前10時30分～午後1時(受け付けは午前10時15分から)。
- ◆会場 中央保健センター2階講堂・栄養実習室(南3西11)。
- ◆対象 区内在住の子育て中のお母さん・お父さん。または、これからお母さん・お父さんになれる方(妊婦の方は7カ月までの方)。
- ◆定員・費用 15人・300円(調理実習材料費)。
- ◆持ち物 エプロン、三角きん、スリッパ。
- ◆申込 2月15日(月)午前9時から電話で(ファクス不可)。先着順。
- ◆その他 託児あり(先着10人)。

◆申込・詳細 健康・子ども課 ☎511-7221



道路を横断する時は「止まる」「見る」「聞く」「待つ」を実行しましょう。

中央老人福祉センター 教養講座受講生募集

▽日程等 左表の通り。
▽対象 満60歳以上で通所可能な方。
▽期間 4月～翌年3月。
▽受講料 無料。
▽教材費 実費負担。

▽申込 2月15日(月)～26日(金)の午前9時30分～午後4時。センター登録証、もしくは登録証がない方は年齢と住所を証明できるもの(健康保険証、敬老手帳など)を持参の上、本人が直接同センターへ。定員を超えた場合は、3月4日(木)に公開抽選を行います。

【申込詳細】 中央老人福祉センター(大通西19・社会福祉総

<中央老人福祉センター教養講座>

講座名	定員	開講日	時間
ペン習字	12人	第1・2・3火曜日	午後1時～3時
皮革工芸	12人	第1・2・3火曜日	午前10時～正午
木彫	12人	第1・2・3水曜日	午後1時～3時
フラワーアレンジメント	12人	第2・4水曜日	午前10時～正午
書道	12人	第1・2・3木曜日	午後1時～3時
大正琴	12人	第1・2・3木曜日	午前10時～正午
水彩画	12人	第1・3月曜日	午後1時～3時
陶芸	16人	第1・2・3金曜日	午前10時～正午

※他に自由参加講座(カラオケ・健康音楽体操・スポーツダンス・コントラクトブリッジなど)も開講しています。

地区センター講座

「やさしい手織り」教室

▽内容 布を織り、ランチョンマットとポーチを作ります。
▽日時 2月18日～3月11日の毎週木曜日午後1時30分～3時30分。
▽会場 旭山公園通地区センター(南9西18)。
▽対象 区内在住か在勤の18歳以上の方(高校生を除く)。
▽定員・費用 15人・受講料2千円、教材費2千円。
▽申込 2月12日(金)午後1時から同センター1階和室Aで

合センター2階

☎(614) 1001

受け付け(電話不可)。

※開始時点で定員を超えた場合は抽選。定員に満たない場合は、引き続き窓口で先着順に受け付け。
【申込詳細】 旭山公園通地区センター ☎(520) 1700

(健康guide) ガイド

中央保健センターからのお知らせ

【申込・詳細】 保健センター健康・子ども課
〒060-0063 南3西11 ☎511-7221

【健康づくり交流会】

健康づくりに関する講演と交流会を行います。

◆内容 講演:「健やかな心身を育む運動と食事」(講師=札幌医科大学保健医療学部教授～武田秀勝氏)。健康づくり活動の実践発表。

◆日時 3月5日(金)午前10時～正午(受け付けは午前9時40分から)。

◆会場 あけぼのアート&コミュニティセンター体育館(南11西9・旧曙小学校)。

◆対象 区内在住の方。

◆定員・費用 なし・無料。

◆申込 2月15日(月)～26日(金)の午前9時～午後5時に電話で(ファクス不可)。

交通事故発生件数

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	56 (-25)	0 (±0)	71 (-36)
札幌市	411 (-28)	0 (-1)	503 (-33)

※平成22年1月19日現在。
()は前年比

【留守家庭のお子さんのために】

留守家庭のお子さんのために児童クラブなどを開設しています。詳しくは全市版25ページをご覧ください。

◆児童クラブ開設の児童会館

児童会館名	所在地	電話番号
緑丘	南10西23	562-1283
桑園	北7西15	641-7008
中島	中島公園1-1	511-3397
山鼻	南24西13	561-6220
円山	北1西23	621-0325
幌西	南14西16	563-2263
円山西町	円山西町8	611-1980
山鼻かしわ	南15西8	533-0622
※資生館小	南3西7	208-5828
※中央小	大通東6	788-8641
※三角山小	宮の森4-11	299-6008

(※は小学校内に開設しているミニ児童会館)

◆民間児童育成会

児童育成会名	所在地	電話番号
じゃりんこひろば(児)	北8西24	622-3010
山鼻おれんじ(児)	南21西8	512-2383
宮の森なかよし(児)	宮の森2-5	642-0012
(共)ミッキークラブ	南7西18	562-3516
どんぐり(児)	宮の森2-13	644-9683
(共)めだか	南11西23	563-8446
(共)がんばりっ子クラブ	北1西26	643-8281
(共)トッポクラブ	南12西17	551-2715
学童保育所コアラクラブ	大通西12	261-6610
(共)かがやき	北6西19	631-4843

※(共)は共同児童保育所、(児)は児童育成会の略。
※中央区以外の施設所在地は子ども未来局子ども企画課(☎211-2982)へお問い合わせください。



※のお願い！
敷地内の雪は道路に出せないうつろにこまごま。

税の申告が始まります ~お早めどうぞ~

所得税と住民税の申告は、3月15日(月)までです。所得税の申告については、「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」などを参考にご自分で作成し、郵送等でお早めに提出してください。申告会場にお越しの際には「印鑑」「前年の申告書控え」および必要な書類をご持参ください。また、来場の際には公共交通機関をご利用ください。

区分	住民税の申告 (市・道民税) ※所得税申告済みの方は不要。	区分	所得税の還付申告 (給与所得者・年金受給者)	所得税の確定申告
会場	中央区役所 1階ロビー (中央区南3西11)	会場	札幌市教育文化会館 3階 (中央区北1西13)	札幌中税務署 (中央区大通西10 札幌第二合同庁舎) 札幌西税務署 (西区発寒4-1)
期間 及び 時間	3月1日(月)~3月15日(月) 午前8時45分~ 午後5時15分 ※土・日曜日は休みです。	期間 及び 時間	2月1日(月)~2月26日(金) 午前9時30分~午後4時 ※各会場とも土・日曜日、祝日は休みです。 なお、札幌市教育文化会館は、2月8日(月)、22日(月)は休館日です。また、札幌西税務署では2月21日、28日の日曜日にも確定申告の受け付けを行います(札幌中税務署は開庁していません)。	2月16日(火)~3月15日(月) 午前9時~午後5時
詳細	中央区役所課税課市民税係 ☎231-2400 (内線) 282~287、252、290、 529、410~412	詳細	札幌中税務署 ☎231-9311 札幌西税務署 ☎666-5111 ※自動音声案内にしたがってお問い合わせください。	 札幌駅 国道230号(石山通) 南9条通 中税務署管轄 4 部分は中税務署 それ以外の方は西税務署が 管轄です。

※「中央区民センター1階ギャラリー」での還付申告会場は開設しませんのでご注意ください。
 ※国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>)の「確定申告書作成コーナー」を利用すると確定申告書が簡単に作成できます。
 自動で検算もでき、計算誤りなどを防止できますので、ぜひご利用ください。さらにe-Tax^{インターネット}を使えば、直接電子申告ができます。
 詳しい手続きは国税庁ホームページを参照してください。
 ※前年、税務署などの会場でパソコンを利用して申告された方で「お知らせはがき」が届いた方は、そのはがきも持参してください。

	主な発生食品	発生状況	予防策	原因微生物など
主食類 ／ 加熱食品	おにぎりなど	手指の傷などから、菌が食品に付くことが原因。	手洗いを徹底し、温度管理に気を付ける。	黄色ブドウ球菌
	ゆでたパスタ・煮物など	室温放置することが原因。	完成品の温度管理に気を付ける。	セレウス菌
	カレー・スープなど	放冷中に菌が増殖することが原因。	保存時は小分けにして素早く冷却し、食べる前には再加熱する。	ウエルシュ菌
肉類	鶏肉・牛肉など	生もしくは加熱不足で食べるのが原因。	加熱が必要な食品は中心まで十分加熱し、二次感染防止のために取りばしと食事用はしを使い分ける。	サルモネラ属菌 カンピロバクター 腸管出血性大腸菌
魚類	イカ・アジ・サケなど	魚に付いた寄生虫を取り除かず食べてしまうことが原因。	加熱調理や-20℃以下で24時間以上冷凍すると死滅するが、家庭用冷蔵庫は-20℃以下にならないものもあるので注意が必要。	アニサキス(寄生虫)
	赤身魚(マグロなど)	管理が悪いと菌の働きでアレルギー物質(ヒスタミン)が生成。	ヒスタミンは加熱調理ではなくならないので、新鮮な食品を選び、唇や舌先に刺激を感じたら食べない。	ヒスタミン
保存食など	「いづし」・缶詰・はちみつなど	「いづし」と呼ばれる保存食品や缶詰などの真空食品が原因。	死亡する場合もある危険な食中毒。保存・真空食品の取り扱いには注意が必要。はちみつは乳児ボツリヌス症の原因となるため、乳児には与えない。	ボツリヌス菌
その他	二枚貝(アサリ・シジミ・カキなど)	ウロにたまったウイルスが原因。また、感染した人が調理した食品も原因となる。	手洗い、うがいを徹底し、食品を十分加熱する。	ノロウイルス



冬の食中毒予防、早見表で安全確認！
食の安全マメ知識 第8回

【詳細】 保健センター生活衛生担当 ☎ 511-7227



新成人の誓い (1/11)



◀みんな笑顔でピース！

札幌パークホテル（南10西3）において「平成22年中央区新成人のつどい」が開催され、944人の新成人が参加しました。

式典では、代表者から「世界に誇れるこの街を築いてくれた先人の開拓精神を受け継ぎ、人が輝き、ぬくもりのある21世紀の札幌を築いていけるように努力していくことを誓います」と力強い言葉が述べられました。

式典後は、再会した友人と記念写真を撮るなど、新たな門出の一日を楽しんでいました。

雪と遊ぼう！ (1/8)

市立向陵中学校（北4西28）において「スノーフェスタ」が開催され、地域の親子など約660人が参加しました。

子どもたちは、子育てボランティアや学生ボランティアなど地域のさまざまな世代の人たちと一緒に、着色した雪でのままごと遊びや雪中サッカーなどをして、寒さも忘れ元気に雪遊びを楽しんでいました。



◀ほくもシュート、エイッ！



▶雪でのままごと遊びに夢中

新春お楽しみ大会 (1/8)



▶怖いけど、どうなってるのかな？

西会館（南6西13）において「新春子どもお楽しみ大会」が開催され、地域の子どもたちなど約150人が参加しました。

子どもたちは紙芝居や腹話術の観賞のほか皿回しにも挑戦。

最後に獅子舞が登場すると、怖がりながらも興味津々で口の中をのぞき込むなど、楽しいお正月の一日を過ごしていました。



▶皿が落ちないように